

# 学習に用いる言葉

## 二年生までに学んだ言葉

### あらすじ

物語を短くまとめたもの。登場人物がしたことや、出来事を、話の順に短くまとめてつなげると、あらすじになる。

物語を人にしようかいつるときには、あらすじをつたえると、その物語を全部読まなくても、だいたいどのようなようかが分かる。

### 組み立て

文章や話が、どのようなまとまりと順序でできているかということ。「はじめ」「中」「終わり」という三つのまとまりで考えると、分かりやすくなることが多い。

読むときは、それぞれのまとまりが何について書かれているかを考えながら読むと、文章全体のないようがよく分かる。

話したり書いたりするときは、つたえたいことをまとまりごとに整理して、組み立てを考えると、聞く人や読む人につたわりやすくなる。

### 作者

物語や詩などを作った人のこと。同じ作者の作品をいくつも読むと、その作者の作品のみりよくがよく分かるようになる。

### しつもん

分からないことや知りたいこと、たしかめたいことなどを、人にきくこと。しつもんをするときは、相手の話をよく聞いて、関係のあることをたずねるようにする。

話し合うときには、おたがいにしつもんをし合うことで、他の人の考えがよく分かったり、みんなの考えが整理されたりする。

### 題名

物語や文章につけられた名前のこと。

題名には、書いた人が作品や文章にこめた思いが表れていることがある。

### 登場人物（人物）

物語の中に出てくる人のこと。物語の中で、人のように動いたり考えたりする生き物や物も、登場人物（人物）という。

登場人物が言ったことや、したことを思い浮かべながら読むと、物語のないようがよく分かる。

### 場面

物語の中にあるいくつかのまとまりのこと。時間や場所、登場人物のしたことなどで、ひとまとまりになっていることが多い。

登場人物の会話や動き、そのときの音や色などを表す言葉に気をつけると、場面の様子をくわしくそうぞうできる。

### 筆者

文章を書いた人のこと。物語や詩などを作った人である「作者」とくべつして、せつめいする文章を書いた人を筆者ということがある。

筆者がどんな人かをたしかめたり、筆者が考えたことに気をつけて読んだりすると、その文章が何についてせつめいしているのがよく分かる。

### メモ

聞いたことや考えたことなどを、後でたしかめられるように書きとめること。また、書きとめたものも、メモという。

大事なことを短い言葉でメモしておき、整理したりまとめたりすると、後でつたえたいことを正しくつたえることができる。

### 訳者

外国語の文章を、日本語の文章に直す人のこと。

同じ作品でも、訳者によって、使われる言葉や表現がことなる。

### 話題

話したり話し合ったりするときのざいりようや、中心となる事柄のこと。

話題から外れないように話す、聞く人も、何をつたえたいかがよく分かる。